

# なかよしタイム

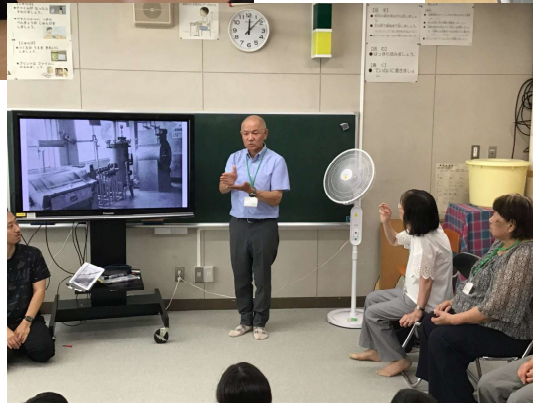
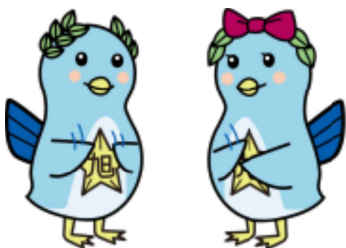
小学部の「なかよしタイム」の様子を紹介します。

小学部では、幼稚部幼児も含めた異年齢集団の中で合同自立活動として、ろう者（本校卒業生など、「旭川ろうあ協会 デフ・コミュニティサロン「ふくろう」の皆さん。）をゲストティーチャーとして招き、昔の遊びを覚えてもらう時間を作っています。一緒に楽しく遊ぶ経験を通して、より豊かなコミュニケーション能力を育てることを目的に行っている活動です。

自己紹介をしたり、楽しくお話ししたり、昔の遊びを覚えてもらって一緒に遊んだり、学校の歴史に触れ昔の聾学校について覚えてもらったりしました。

小学校1，2年生で学ぶ生活科では、昔の遊びを地域の町内会のお年寄りに覚えてもらうなどする学習活動がありますが、聾学校ではなかなかできていないのではないのでしょうか。それは、手話などのコミュニケーションが大きな壁になっているからではないかと思えます。ろう者（卒業生）であれば、そのような壁はありません。楽しく交流できました。

また、聾学校の昔の写真を見て、昔の学校の様子を覚えてもらいました。以前は、本校にも高等部のクリーニング科があって、「～さんはクリーニング科で学んで卒業したんだよ。」という話や、「一学年には16人ぐらい同級生がいたんだよ。」「今、一番同級生が多いクラスは4人だから4倍だね。」など、「へ～。」と思うようなお話をたくさん聞くことができました。ありがとうございました！



クリーニング科の写真を見て！